

広報の報道に市民から 異論・反論

今年三月に寝屋川市がおこなった「市政に関する市民アンケート調査」の報告書が、六月に入って公表されました。

市民は「福祉」と「安全」 安心」施策もとめる

五月十五日広報で、二面全部を使って、「7割強の人が住みやすいと回答」と、大きくとりあげられていたものです。

「買物など日常生活が便利」、「生まれ育った所」など、市政が良いか悪いかなどは「福祉が充実している」との比較が出ています。理由を三つしか選ぶことができないという制約があるものの、「住みつけたい」理由に、前回は「福祉の充実」や「教育環境がよい」が選ばれた。安全で安心」は、約十二%から五%未満へ激減。注目すべきはその点ではないでしょうか。

「安全・安心面が不安」などであり、そうした内容こそ重視しなければならぬのではないかと。というものでした。



「寝屋川市市政に関する市民アンケート」 本来の市政評価をなぜ問わないのか

報告書には、八年前との比較が出ています。理由を三つしか選ぶことができないという制約があるものの、「住みつけたい」理由に、前回は「福祉の充実」や「教育環境がよい」が選ばれた。安全で安心」は、約十二%から五%未満へ激減。注目すべきはその点ではないでしょうか。

「転出したい」理由の上位は、先にあげた二つです。「福祉が充実していない」は、前回から倍増の約二六%強です。「安全安心面が不安」は、三倍以上の二二%強です。

アンケートは、「市政に関する」と銘打ちながら、「定住意識」や「市政情報」「広報関係」に重点を置いておこなわれました。

法律相談

とき: 6月21日(木)夜6時半~

ところ: 市民会館第3・4会議室

予約、お問い合わせは党市議団まで

「消えた年金」問題解決へ 日本共産党提案

「消えた年金」問題に対する国民の怒りが沸騰しています。

五千万件の所在不明の年金記録に加えて、コンピューター未入力

ろか、責任を果たすべき社会保険庁を解体して民営化を進め、責任の所在をあいまいにしようとしています。

小池議員は、所在不明の年金記録について、

①調査対象を氏名、性別、生年月日の三条件

一致だけに限らず広げ

る②該当者に記録の身を手入して示す③千四百三十万件を入力してから名前を照合する「名寄せ」を行うことを提案しました。

議員日誌



中谷 光夫

六月に予想されていたこととはいえ、住民税の通知が届いた市民から、あまりの高さに、驚きと怒りとともに、増税をもたらした自民、公明与党に対する怨嗟の声が広がっています。

す。まもなく国民健康保険料の通知が届きます。社会保障推進協議会が取り組んでいる「住民税、国保料、介護保険料の軽減策求める」署名の重要性を今更ながら痛感しています。